

第 6 回 新花巻図書館整備基本計画（試案） 検討会議

事務局資料

令和 3 年 1 1 月 1 2 日

花巻市 生涯学習部

新花巻図書館計画室

令和2年度の花巻市立花巻図書館の予算額は83,037千円となっているが、仮に一関市立一関図書館（平成30年度決算額）の光熱水費や委託料、図書購入費等を参考に試算すると、年間で198,752千円の運営経費となる。

(単位：千円)

項目	現行花巻図書館 (R2年度当初)	新花巻図書館 運営費(試算)	備考
人件費 (報酬・職員給与等)	41,076	94,452	試算では正職員10名、会計年度任用職員15名。※一関図書館は正職員7名、会計年度任用職員14名
消耗品費、光熱水費、その他 () 内光熱水費	9,363 (2,190)	22,697	光熱水費を除き現図書館予算の1.5倍で計算。 光熱水費は一関図書館のH30決算額を参考
施設管理、システム等	9,053	14,000	一関図書館のH30決算額を参考
機器借上料 等	15,803	16,103	図書館情報システム、WiFi設備等、業者参考見積もり
図書購入費 等	7,742	51,500	※1
合計	83,037	198,752	

図書館購入費は、一関図書館開館当初からの10年間、市内8館全体で1億円の予算、内一関図書館の購入冊数割合51.5%で試算。

(1)ユニバーサルデザイン（バリアフリーへの対応）

- 子どもから高齢者、障がい者、すべての人にとってバリアフリーで動きやすく、機能的、効率的な動線に配慮した施設とする。
- 施設の内装等は、可能な範囲で木質化を図るなど利用者に負担感や圧迫感などのストレスを与えず、市民が安心して入りやすく、またくつろぐことができ、基本方針に基づいた本市中央図書館にふさわしいデザインとする。
- 高齢者や障がい者等でも利用しやすいよう、本棚の高さや通路幅を考慮するとともに、随所で閲覧や休憩ができるよう、椅子等を配置する。
- 駐車場や通路等は、すべての人にとって利用しやすく、安全性を重視したものとする。
- 施設内外の案内表示・サイン表示等は、子どもから高齢者、障がい者にもわかりやすいデザインとする。
- すべての障がい者(身体、視覚、聴覚、精神など)に対応できる施設を目指します。
- 対面朗読サービスや録音サービスなどが行えるよう配慮し、必要な機器の導入に努める。
- トイレやエレベーターなどの共用部分は、だれでも使いやすい位置に設置する。

<参考>

『図書館における障害を理由とする差別の解消の推進に関するガイドライン』2016年、公益社団法人日本図書館協会

図書館利用に障害のある人：身体障害者、精神障害者、知的障害者、発達障害者、高齢で利用に障害がある人、入院患者、いわゆる寝たきり状態の人、施設入所者、受刑者等矯正施設入所者、妊産婦、病気やけが等による一時的な障害状態、外国人・日本人で日本以外の文化的背景を持つ人、戸籍上の性別に違和感を持つ人（性同一性障害を含む）等。

(2)十分なスペースの確保

- 可能な限り一層（ワンフロア）の面積を大きく取り、開架スペースはくつろいで読書や資料調査ができるよう十分な余裕をもち、図書などをわかりやすく配置。
- 中央図書館としての機能を十分発揮するために、閉架スペースは十分な余裕をもち、貴重図書や資料も保管できるようにする。
- 貸出や返却窓口、レファレンス（相談、調べもの支援）窓口は、十分なスペースを確保する。
- 多様な読書閲覧需要に対応するため、静かに閲覧したい人のための閲覧室や、自由に話ができる閲覧コーナーなど、十分な閲覧席と閲覧スペースを設置。
- 児童、生徒、学生や一般の利用者が、個人またはグループで学習ができるスペースや、椅子やテーブルも移動可能なスペース、個人で読書や研究ができる部屋やスヌーズレン対応する空間など、多様な活動に対応できるスペースや部屋を設置。
- 新着図書や話題の図書の紹介や、企画展示を紹介できるコーナーを設置。
- 自主的な生涯学習活動を支援するため、多人数で生涯学習活動ができるスペースを設置。
- 音楽や映像等の視聴覚資料を利用できるスペースを設置する他、音楽や映像等を試写等ができるスペースを設置。
- 利用者個人のパソコンなどが利用できるスペースを設置。
- トイレや授乳室、エレベーターなどは、可能なかぎりゆとりのあるつくりとする。
- 展示や発表活動ができるスペースや多目的に活用できるスペースを設置。
- 自然や緑を感じながら屋外で読書などや様々な活動ができるテラスなどの空間をつくる。
- 事務室や作業室など、スタッフの様々な作業に対応できる空間を配置する。

<参考> 「スヌーズレン」とは、障害が重い人たちでも楽しめるよう、光、音、におい、振動、温度、感覚の素材、いろんなものを組み合わせ感覚を重視した部屋

(3)先人や郷土資料のスペースを設置

- 宮沢賢治や高村光太郎、萬鉄五郎、新渡戸稲造等、本市ゆかりの多くの先人に関して、それら人物の著書、研究資料等をはじめとした、先人関係の資料を配置したスペースを設置。
- 郷土に関する資料、本市行政資料など、本市に関わる資料を配置したスペースを設置。
- 市内の記念館や美術館などの先人顕彰施設と連携し、先人や郷土の総合的な紹介コーナーを設け、それぞれの先人顕彰施設等への誘導を図る。
- 先人顕彰が後世に受け継げるよう、先人顕彰施設や先人顕彰を行う団体・個人などと連携しながら、資料の充実を図る。

(4)子どもスペースを設置

- 親子や子ども達が楽しんで読書できるよう、子ども向け図書を配置したスペースを設置。
- 親子や子ども達が声を出しても迷惑にならないスペースを設置。
- 子どもたちが興味を持って調べものや読書ができるように、多様な読書用の空間や座席を配置する。
- 子ども向けの読み聞かせ会などのイベントを実施できるような空間を設ける。
- 子ども用トイレの設置や乳幼児室など、親子が安心して滞在できるような環境を整備する。

(5)防災、防犯対策、環境へ配慮

- 建物は地震などの災害に対応できる適切な耐震性等を確保した施設とするとともに、設備等は地震による図書の落下対策や、書架の転倒防止対策を施したものとする。
- 災害時には速やかに避難できるように、安全でわかりやすい避難通路の確保と効果的な警報設備等を設置。
- 書架等の配置は、可能な限り死角が生じないよう計画し、防犯カメラなどの機材を設置することにより防犯対策を行う。
- 花巻市環境基本計画に基づき、自然エネルギーの活用を検討し、紫外線対策を施した適度な自然光の利用やLED照明器具の設置、冷暖房設備の効果的な配置等、環境負荷の軽減に努める。

(6)必要な駐車スペースを確保

- 自動車用の駐車場として十分なスペースを確保するとともに、安全に配慮した駐車場を設置。(180台程度)
- 障がい者や高齢者の自動車利用者に負担をかけないように、車いす利用者や障がい者、高齢者の利用にも配慮した駐車場を配置する。
- 立体駐車場の場合は通路の安全面などに配慮するとともに、高齢者等に配慮した駐車スペースの配置とゆとりある駐車スペースの確保など、利用者の利便性に努める。
- 自転車や2輪車のための駐輪場を設置。(100台程度)
- 駐車場や通路・広場については、図書館等と連携したイベントなどで活用する場合を考慮した配置する。
- 駐車場の出入口については、周辺施設等の入口等にも配慮して使いやすく交通に支障がないようにする。

(7)施設の併設等の検討

- 図書館を主な施設とし、飲食店舗や飲食できるスペースの設置、市内の仕事や商品を紹介し購入ができる「チャレンジショップ」等の設置を検討する。
- 展示や発表等、生涯学習活動に活用できる多目的な空間の設置を検討する。
- 図書館と連携したイベント活動等ができる広場の併設を検討する。

(8)感染症への対策

- 感染症対策の状況分析・提言に基づく感染拡大の予防策を徹底する。
- 感染拡大の対策に関して、速やかな連携が図れるよう、地域内の保健所との連絡体制を検討する。
- 高齢者や持病のある来館者については、徹底したリスク回避の対応策を検討する。
- 所蔵する資料を閲覧に供し、貸出するなど、様々な接触機会があるため、人的接触だけではなく、館内の設備や備品などへの接触や、資料の接触利用に伴う感染の可能性について対処する他、来館者への注意喚起に努める。
- 感染拡大の予防のために、入場者の制限を実施する必要がある場合に備え、入館可能時間、入館可能者数の設定や閲覧スペースの座席数の制限等を検討する。
- 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒を徹底する仕組みを検討します。
- 来館者や従事者の密集や接触などのリスクを避けるために、必要な導線の確保に努める。
- 来館者に、不必要な会話や大声を出さないよう注意喚起の検討する。
- 図書館利用に障がいのある方の利用に際しては、障がいの種類や特性に配慮しながら、対応方法を検討する。
- 読書支援機器等の貸与物品については、十分に消毒するよう努める。
- 水道等設備についても、直接手を触れなくても動作する機器等の配備を検討する。
- 新しい機器やシステムの導入にあたっては、非接触型の機器について検討する。

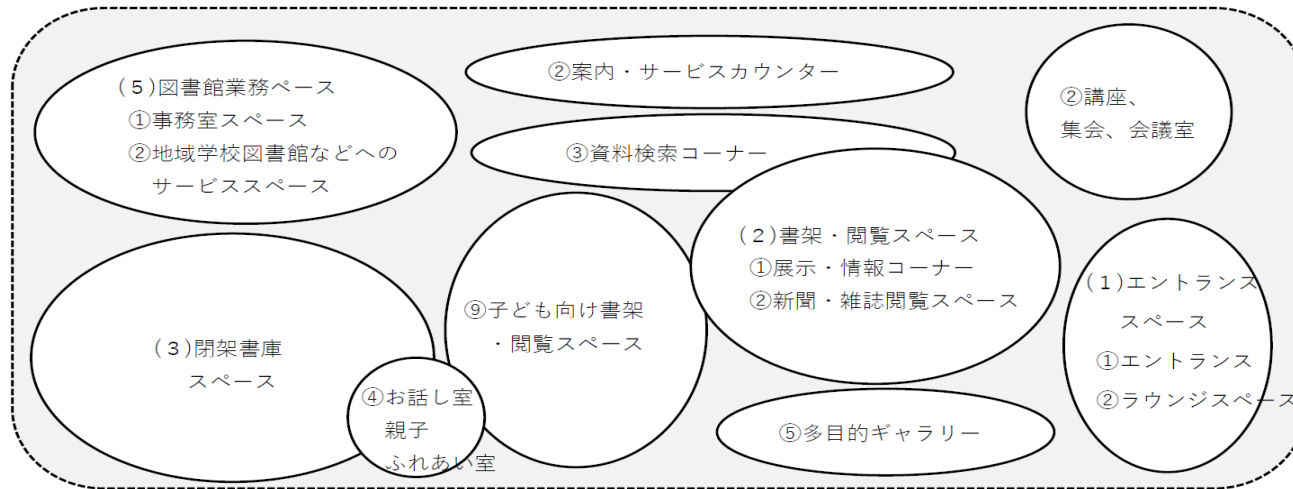
【新花巻図書館規模試案】 記載した面積はおおむねの面積試案

区分	内容	面積 (㎡)
エントランススペース	①エントランススペース ②ラウンジスペース	200
開架・閲覧スペース	①展示・情報コーナー ②案内・サービスコーナー ③資料検索コーナー ④レファレンスサービスカウンター ⑤新聞・雑誌閲覧スペース ⑥書架・閲覧スペース (一般) ⑦地域資料・行政資料スペース ⑧視聴覚スペース ⑨子ども向け書架・閲覧スペース ⑩書架・閲覧スペース (ティーンズ)	2,200
閉架書庫スペース		800
その他スペース	①学習室 ②講座、集会、会議室 ③研究室、高齢者、障がい者へのサービス対応室 ④お話し (読み聞かせ) 室、親子ふれあい室 ⑤多目的ギャラリー ⑥その他共用スペース	800
図書館業務スペース	①事務室スペース ②地域・学校図書などへのサービススペース ③作業スペース ④その他	500
合計		4,500

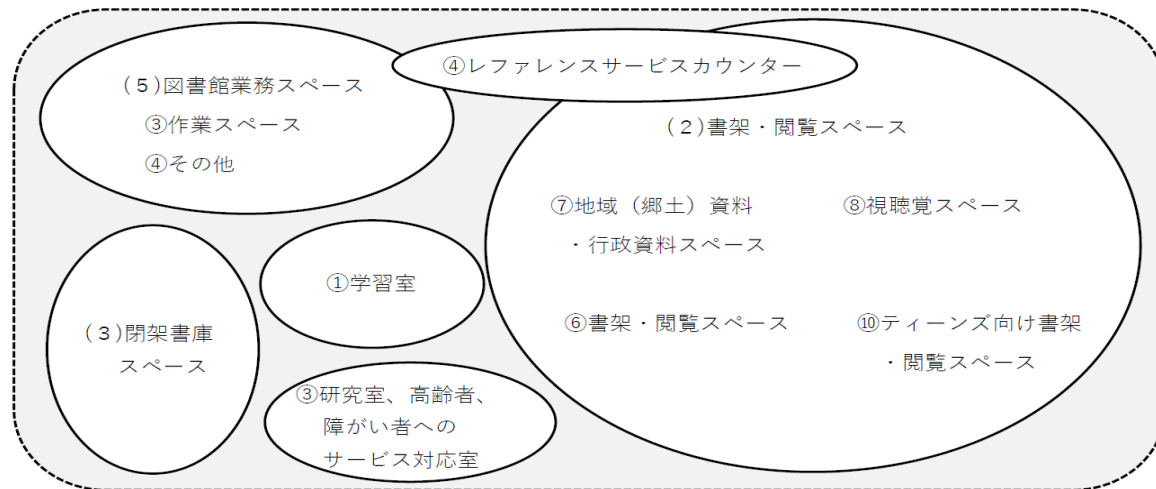
施設に必要な各スペースの機能や配置等、概要は別紙資料1-2のとおり。
 なお、配置図はイメージ例であり、実際の規模等とは異なります。

配置イメージ例（2階建てを想定した場合）

1階



2階



新花巻図書館整備基本構想においては、図書館は、市民をはじめとする利用者にとって、利用しやすい場所にあるべきであり、交通アクセスが良くわかりやすく行きやすい場所で、十分な駐車場も確保できる場所が望ましいとしている。

そして、図書館は市街地再生に資する施設としてまちづくりや都市計画とも整合したものとする必要があり、本市は、平成28年6月に市街地の定住化を促進し市街地に都市機能を誘導する「花巻市立地適正化計画」を策定し公表したが、新しい図書館は其中で示す「都市機能誘導区域」に整備することとし、候補地を数箇所選定した上で基本計画において場所を定めることとしている。

都市機能誘導区域内で検討された候補地

ア まなび学園周辺

- ①花巻営林署跡地A
- ②花巻営林署B
- ③まなび学園前
- ④まなび学園体育館
- ⑤総合花巻病院跡地

イ 花巻駅周辺

- ①JR用地
スポーツ用品店敷地
- ②花巻駅南駐車場
なはんプラザ東側